



[発行者]
一般社団法人 千葉県ビルメンテナンス協会
千葉市中央区登戸1-24-1 (ビルメン会館)
TEL 043-238-1156
発行日 令和3年8月1日
URL <http://www.c-bma.or.jp/>



令和3年度 定時総会

開催日 令和3年5月27日 (木)

会 場 ビルメン会館2階

内 容

令和3年5月27日(木)ビルメン会館2階において一般社団法人千葉県ビルメンテナンス協会令和3年度定時総会、千葉県ビルメンテナンス政治連盟令和3年度通常総会が会長、副会長、理事、監事出席の下に書面表決で開催されました。

コロナウイルス感染症の収束が見えないため、昨年と同様に書面表決を行いました。今年度は役員改選もあり、臨時理事会の開催が必要であるため、理事の方々にも出席をお願いしました。

昨年からの日々の活動が異例尽くしではありますが、一日も早く通常の生活に戻るよう祈るばかりです。

協会会員107社の内95社から書面表決書をご提出いただき、その結果については下記のとおりです。

議 案	結果	賛成	反対	無効
第1号議案 令和2年度事業報告承認の件	可決	95	0	0
第2号議案 令和2年度決算承認の件	可決	95	0	0
第3号議案 令和3年・令和4年度役員の選任について	可決	95	0	0
第4号議案 (公社) 全国ビルメンテナンス協会代議員の選任について	可決	95	0	0
第5号議案 選挙管理委員の選任について	可決	95	0	0

政連会員99社の内86社から書面表決書をご提出いただき、その結果については下記のとおりです。

議 案	結果	賛成	反対	無効
第1号議案 令和2年度活動報告について	可決	86	0	0
第2号議案 令和2年度収支決算報告について	可決	86	0	0
第3号議案 令和3年度活動計画(案)について	可決	86	0	0
第4号議案 令和3年度収支予算(案)について	可決	86	0	0
第5号議案 役員の選出について	可決	86	0	0

永きにわたり、協会役員としてご尽力いただいた2名に会長から感謝状が贈呈されました。



竹島 儀明氏



原 隆志氏



【令和3年度・令和4年度役員】

役 職	氏 名	社 名
会 長	大竹清治	(株)ソピュア
副 会 長	横瀬教之	ニュー船橋(株)
	武田 勲	(株)京葉ビルサービス
	萩原康宏	三栄メンテナンス(株)
専務理事	齋藤 了	(一社)千葉県ビルメンテナンス協会
理 事	石川正廣	千葉建物管理(株)
	小名木敬一	シーアンドエー(株)
	小名木隆博	北葉企業(株)
	鍋木信雄	(株)鍋木商会
	土屋純一	(有)幸栄ビルサービス
	中村欽一	千葉ネスコ(株)
	今関陽一	柏ビル管理(株)
	高橋秀一	(株)ほくしん
監 事	山崎 正	ワイビーサービス(株)
	君塚幸申	(株)アサヒサニター
	手島英男	千葉中央会計事務所

よろしくお願いします



原 隆志 前副会長「厚生労働大臣表彰」を受賞

当協会 前副会長の原 隆志氏が建築物環境衛生功労者として、田村厚生労働大臣から表彰状を授与されました。原前副会長は、平成21年5月に当協会の理事に就任し平成25年5月からは協会副会長に就任。この間、健全な協会運営に取り組み関係企業の発展向上に貢献された功績が認められたものであります。

なお、表彰式は例年、建築物環境衛生管理全国大会にて行われておりましたが、コロナ禍のため、令和3年2月の当協会理事会にて表彰しました。



第14回ビルメンテナンス こども絵画コンクール



前回もご案内した、(公社)全国ビルメンテナンス協会主催の「第14回ビルメンテナンスこども絵画コンクール」で文部科学大臣賞を受賞された、国府台女子学院小学部 松波 怜奈さんが千葉日報で紹介されました。



千葉日報掲載

第17回 関東甲信越地区本部 ビルクリーニング技能競技会

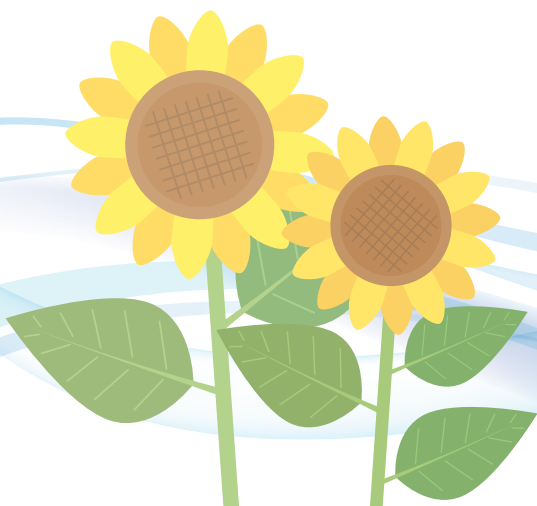
令和3年5月24日(月)全国ビルメンテナンス協会のビルメンテナンス会館にて関東大会が開催され、今年は新型コロナウイルス感染症対策のために無観客で行われました。千葉県協会からは2名の参加希望者がいましたが、ほかに希望者がいなかったことから選考会を行わず、JR千葉鉄道サービス(株) 星野 晃二様、栗田 匠様に県代表として出場していただきました。出場が決まってからは県協会の研修室にて実技の特訓を行い、関東大会に備えました。関東大会当日は審査員と出場者しかいない会場で粛々と競技が行われました。普段とは違う雰囲気の中でしたが、2名とも優秀賞を獲得しました。お疲れ様でした。



実技特訓の様子

新規会員紹介

京葉支部 (株)クリスタル
〒272-0024 市川市稲荷木2-14-11



清掃技術委員会

● 病院清掃作業従事者研修会

開催日 令和3年2月14日(日)

会 場 県協会 ビルメン会館2階

参加者数 3社11名

内 容 病院清掃作業従事者向けの研修会です。基本的な事柄に加え、病院清掃ならではの事例などについても話していただいています。

清掃時における問題点や疑問点の解決にお役に立てれば幸いです。



● 貯水槽清掃作業従事者研修会

開催日 令和3年2月25日(木)

会 場 県協会 ビルメン会館2階

参加者数 6社8名

内 容 「建築物の環境衛生行政」「給水設備と機器」「貯水槽の消毒方法」「貯水槽の塗装方法」「作業の安全と衛生」「貯水槽の清掃方法」という内容を県衛生指導課 藤波様、協会講師 野田様、日新ビルサービス(株) 橋本様に講師をお願いして研修会を行いました。



設備技術委員会

● 防除作業従事者研修会

開催日 令和3年1月13日(水)～2月26日(金)

会 場 自宅学習 参加者数 5社9名

内 容 例年、集合研修会として開催してありましたが、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、本年度に限り、自宅学習の方法による実施も認める旨の通知が厚生労働省からあり、千葉県協会として自宅学習方式により実施いたしました。

研修科目の映像を各自見ていただき、学習報告書の提出をもって修了といたしました。県協会として修了証を発行する際に、参考例となる報告書も併せて送付しました。初めての研修形式であるため、手探り状態ではありましたが、無事に終了することができました。



支 部 だ よ り

千葉支部

● 社会奉仕活動

開催日 令和3年5月28日(金) 参加者数 8社12名

内 容 『ごみゼロクリーンデー、ポイ捨てやめようキャンペーン』に参加しました。千葉支部会員会社8社、12名の参加をいただきました。

本来ですと、全体集合～開会セレモニー等を行ってからのスタートとなりますが、本年は新型コロナウイルス感染症対策として、全体集合及び開会セレモニー等はなしで参加団体メンバーが揃い次第スタートとなりました。このため、いつもの集合場所には時間をずらして各団体メンバーが集まるため閑散としたものでした(参加団体数も少なくなっていました)。

千葉支部は京成千葉駅～駅前大通り～中央公園のコースを作業いたしました。9:30～10:15で作業を終わらせ解散いたしました。



千葉支部 支部長 鍋木 信雄

南総支部

令和3・4年度の支部役員改選にあたり、私が支部長に選任されました。令和3年度の南総支部定時総会は、いまだ新型コロナウイルス感染症収束の見通しが立たない状況を鑑み、昨年同様に書面表決といたしました。各議案につきましては支部会員全員の賛成をいただき承認されました。令和3年度も新型コロナウイルス感染症防止対策を最優先に考えながら、支部事業活動計画に則り、可能な範囲での活動を進めてまいります。

南総支部 支部長 鶴岡 智利

マスク着用時の 熱中症対策について

これから暑さも本格化してくる季節となりました。まだまだ続く新型コロナウイルス感染対策としてのマスク着用ですが、人間の体は体温を一定に維持しようとするため、体温上昇時には体熱放散作用（皮膚の血管拡張や血流量の増加による熱の放散・発汗による水分蒸発作用・呼吸の促進散など）が働き体温の低下をはかります。

マスク着用下でジョギングした場合、「呼吸障害」を起こし、熱中症などが発生してしまう可能性が指摘されています。また、マスクを着用していない場合と比べると、心拍数や呼吸数、血中二酸化炭素濃度、体感温度が上昇するなど、身体に負担がかかることや、口腔内の渇きをあまり感じないことも想定されています。

高温や多湿の環境下でのマスク着用は、熱中症のリスクが高まるので注意が必要です。

暑さを避け、こまめに水分補給を行い熱中症予防も忘れずに行ってください。

企画広報部会 部会委員 新生ビルテクノ(株)
原田 明秀



編集後記

コロナ禍では三密を避けソーシャルディスタンスを保つ、これが新型コロナウイルス感染拡大を防ぐ基本スタンスであります。

新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言が発令される以前まで世界はグローバル化が加速し、まさに世界の距離は近く情報も人的交流も危険も喜びも悲しみも全て密の中にあっただと思います。

しかしながらコロナ感染拡大により世界は真逆の方向へと一変しました。

旅行、居酒屋飲み会、カラオケ、イベント、趣味の集まりも三密を避けるために全て御法度とされ学校、仕事もリモート、人と人との距離そして心の距離も離れてしまった感じがしました。

そしてコロナ禍の東京オリンピック、パラリンピックについては、コロナ感染拡大の事だけを考えれば中止もしくは延期という選択が正しいと思いますが、アスリートと大会関係者の思いを鑑みたくえでの判断下において(競技、競技場によって異なると思います)仮に無観客での開催が実行された場合、アスリートにとってはモチベーションの低下に繋がるのではないかと想像されます。本来のオリンピック、パラリンピックの精神はやはり多くの観客の声援に後押しされ、そして多くの勇気をもらい、素晴らしいパフォーマンスが生まれ記録へと繋がり、アスリートも観客も日本国民一体となり感動する、それが真のオリンピック、パラリンピックであると思います。

コロナ禍でのオリンピック開催とコロナ感染拡大防止は相反する事で矛盾多き判断になる事と思います。

コロナとの闘いは長期戦になりそうですが、これからもソーシャルディスタンスを保たねばなりません。コロナ収束後においては、人と人との心が離れてしまった人間関係ではなく、日本古来の「向こう三軒両隣」、コミュニティからの「絆の精神」が失われないように日本国民全員が協力してこのコロナ禍を乗り切ってささやかな気持ちになれるよう、収束後の日本、そして世界にしたいものです。

企画広報部会部会長 千葉ネスコ(株) 中村 欽一